

注記

I. 重要な会計方針

1 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

- ・減価償却の方法

定額法による。

- ・主な耐用年数

建物 6～50年

構築物 7～60年

機械及び装置 5～17年

(2) 無形固定資産

- ・減価償却の方法

定額法による。

2 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度の退職手当の期末要支給額に相当する金額を計上している。

(2) 賞与引当金及び法定福利費引当金

職員の期末・勤勉手当の支給及びこれに係る法定福利費の支払に備えるため、当年度末における支給（支払）見込額に基づき、当年度の負担に属する額（12月から3月までの4か月分）を計上している。

(3) 修繕準備引当金

平成30年3月31日において計上されている額について、従前の例により取り崩す額を計上している。

3 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜き方式による。

II. セグメント情報の開示

1 報告セグメントの概要

施設管理事業会計は、格納庫事業、賃貸ビル事業及びゴルフ場事業を運営しており、群馬県企業局財務規程に定める区分に基づき、これら3つを報告セグメントとしている。

なお、各報告セグメントに属する事業の内容は以下のとおりである。

| セグメント区分 | 事業の内容 |
|---------|---------------------|
| 格納庫事業 | 群馬ヘリポート格納庫の管理運営 |
| 賃貸ビル事業 | 公社総合ビルの管理運営及びその附帯事業 |
| ゴルフ場事業 | ゴルフ場施設の管理運営及びその附帯事業 |

2 報告セグメントごとの営業収益等

当年度（自 平成29年 4月 1日 至 平成30年 3月31日）

（単位：円）

| | 格納庫事業 | 賃貸ビル事業 | ゴルフ場事業 | 合計 |
|-----------------------|-------------|---------------|---------------|---------------|
| 営業収益 | 38,904,041 | 127,068,278 | 666,567,535 | 832,539,854 |
| 営業費用 | 15,914,131 | 152,718,918 | 501,767,494 | 670,400,543 |
| 営業損益 | 22,989,910 | △ 25,650,640 | 164,800,041 | 162,139,311 |
| 経常損益 | 22,989,910 | △ 21,052,836 | 164,833,258 | 166,770,332 |
| セグメント資産 | 387,082,570 | 1,429,202,952 | 7,230,821,566 | 9,047,107,088 |
| セグメント負債 | 63,076,852 | 70,303,101 | 1,751,997,779 | 1,885,377,732 |
| その他の項目 | | | | |
| 減価償却費 | 11,805,441 | 52,924,766 | 124,971,567 | 189,701,774 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産増加額 | — | 39,874,000 | 130,757,000 | 170,631,000 |

III. その他

1 修繕準備引当金の目的使用による取崩しについて

当年度において、群馬ヘリポート格納庫屋根修繕工事等に係る費用55,601,470円を支出するため、修繕準備引当金55,601,470円を使用した。